

感謝の気持ちを音楽にのせて

サンクスコンサート

2026

インストラクターが日頃の感謝の気持ちを込めて演奏します

PROGRAM

 島村楽器

開催日 2026年7月5日 会場 あいれふホール

第1部 開場 12:30 / 開演 13:00 第2部 開場 17:30 / 開演 18:00

PROGRAM

ご挨拶

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は島村楽器株式会社をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
また本日は「島村楽器 サンクスコンサート」へのご来場、ならびにオンライン配信でのご視聴をいただき、重ねて御礼申し上げます。

島村楽器は1962年、音楽教室の運営から歩みを始めました。創業以来、私たちは「音楽の楽しさを提供し、音楽を楽しむ人を一人でも多く創る」という理念を掲げ、今日まで皆様の温かなご支援に支えられながら、全国40都道府県に楽器販売店舗および音楽教室を展開しております。音楽教室の指導者は、この理念の実現に向けてレッスンを提供しております。

本コンサートは、そうした指導者をより広く知っていただき、演奏を多くの方へお届けしたいという想いからスタートいたしました。2018年の初開催から数え、これまでに関東・近畿・九州の各地区で計11回の公演を重ねてまいりました。2021年からはオンライン配信も開始し、本格的な演奏を全国の皆さまにご覧いただける機会として、ご好評をいただいております。様々な視聴方法を通じて、一人でも多くの方に、お楽しみいただけることを願っております。

島村楽器のインストラクターは、「良き指導者であり、良き演奏者でもある」ことをモットーに、日々指導スキルの向上とともに演奏技術の研鑽に励んでおります。本コンサート出演者も、普段は全国各地の音楽教室でレッスンを担当しておりますが、本日は演奏者として、皆様への日頃の感謝の気持ちを込めて演奏いたします。

最後になりますが、「島村楽器 サンクスコンサート」の開催にあたり、深いご理解とご協力を賜りました音楽教室会員の皆様、そしてご来場・ご視聴いただいております皆様に心より御礼申し上げます。

どうぞ最後まで「島村楽器 サンクスコンサート」をお楽しみください。

2026年7月
島村楽器株式会社
代表取締役社長 廣瀬 利明

第1部

フルート協奏曲 Op.30b 第1楽章、第3楽章 / 尾高 尚忠	フルート:伊藤 向莉 伴奏:秋本 響子
ポロネーズ 第6番 Op.53「英雄」 / F.F.ショパン	ピアノ:和田 佳小里
「バラード」アルトサクソフォンとピアノのための / 蒔田 裕也	サクソ:山下 航平 伴奏:小柳 舞華
水の戯れ / M.ラヴェル	ピアノ:宮平 真佑
ピアノソナタ 第1番 Op.1 / S.プロコフィエフ	ピアノ:目 明代

休憩

水のクロニクル / 石川 亮太	サクソ:川島 宙 伴奏:楠本 真理子
舟歌 Op.60 / F.F.ショパン	ピアノ:秋本 響子
幻想曲「泡」クラリネットとピアノのための / 葛西 竜之介	クラリネット:寺田 真弓 伴奏:和田 佳小里
死の舞踏 Op.40 / C.サン=サーンス	ピアノ連弾:小柳 舞華 藤岡 真子
前奏曲 Op.32 第1番、第5番 / S.ラフマニノフ	ピアノ:藤井 鴻気
楽興の時 Op.16 第4番 / S.ラフマニノフ	
ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Op.100 第1楽章 / J.ブラームス	ヴァイオリン:佐藤 華子 伴奏:楠本 真理子

第2部

ファジィバード・ソナタより 第1楽章「Run,bird」 / 吉松 隆	サクソ:堂森 拓哉 伴奏:本居 遼也
巡礼の年 第2年「イタリア」より 第1番「婚礼」 / F.リスト	ピアノ:原田 美沙
ツイゴイネルワイゼン Op.20 / P.サラサーテ	ヴァイオリン:山岸 沙紀 伴奏:木村 美沙子
舟歌 Op.60 / F.F.ショパン	ピアノ:野村 侑未
「椿姫」によるファンタジー / G.ヴェルディ	フルート:山本 愛美 伴奏:板井 かほり
ノクターン第13番 Op.48-1 / F.F.ショパン	ピアノ:本居 遼也

休憩

フルート協奏曲 Op.30b 第1楽章 / 尾高 尚忠	フルート:奥村 愛 伴奏:原田 美沙
スケルツォ 第2番 Op.31 / F.F.ショパン	ピアノ:矢野 仁美
「ロメオとジュリエット」ピアノのための10の小品 Op.75より 1.民衆の踊り、6.モンタギュー家とキャピュレット家 / S.プロコフィエフ	ピアノ:板井 かほり
プロヴァンスの風景 第1楽章、第2楽章、第5楽章 / P.モーリス	サクソ:舟木 春菜 伴奏:野村 侑未
前奏曲 第1集より「ミンストレル」 / C.ドビュッシー 日向で水浴びする女たち / D.de.セヴラック	ピアノ:木村 美沙子
ホワイト・フィールド 鳥はひとつの終わりを歌う / 成田 勤	サクソ:尾中 勇太 伴奏:本居 遼也

第1部

演奏曲目解説
演奏者メッセージ
プロフィール

フルート協奏曲 Op.30b 第1楽章、第3楽章 / 尾高尚忠

フルート：伊藤 向莉 伴奏：秋本 響子

尾高尚忠は、日本音楽界の中心的存在として活躍した作曲家・指揮者です。1948年にオーケストラ用として作曲し、その後ピアノ伴奏用に編曲されました。第1楽章は、日本の音階を用いながらどこか懐かしいメロディーを歌い上げます。第3楽章は、フルートらしい細かなパッセージが華やかなフィナーレを飾ります。

演奏者よりメッセージ 尾高尚忠さんが「音楽で表した景色」を、自分なりに解釈して皆さまに演奏をお届けできたらと思います。フルートと作品の魅力がお伝えできると嬉しいです。



伊藤 向莉 Ito Himari (二子玉川ライズ・ショッピングセンター店)
12歳よりフルートを始める。桐朋学園大学管楽器専攻を卒業。同大学研究生を修了。フルートを白尾彰氏に師事。第19回日本ジュニア管打楽器コンクールアンサンブル部門で金賞(1位)を受賞。調布国際音楽祭2021に出演。学内の成績優秀者として木管五重奏で演奏会に出演。大学卒業時成績優秀者として日本フルート協会主催49回フルートデビューリサイタルに出演。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

ポロネーズ 第6番 Op.53「英雄」 / F.F.ショパン

ピアノ：和田 佳小里

「英雄ポロネーズ」の名で広く親しまれているこの曲は、ショパンの創作活動が最も充実していた1842年、32歳の頃に作曲されました。ポーランドの宮廷で発展した3拍子の舞曲を基に、“Maestoso”の指示による風格あるリズムと響き、高揚感あふれる旋律が特徴です。二度と戻ることの叶わなかった故郷への想いが感じられる作品です。

演奏者よりメッセージ 幼い頃に繰り返し聴いていたレコードの最後に収められていたこの曲。溝が広く、「大曲のところに針がきた!」と感じたことを覚えています。幼少期に憧れだった曲を演奏させていただけることを大変嬉しく思っております。



和田 佳小里 Wada Kaori (アミュプラザ博多店)
福岡県太宰府市出身。くらしき作陽大学音楽学部教育音楽学科卒業。卒業演奏会出演、第49回西日本出身新人紹介演奏会出演。ピアノを藪博之、野崎博子の各氏に師事。現在、ピアノを斎藤恵、音楽史・和声法を土田京子の各氏に師事し、研鑽を積んでいる。

「バラード」アルトサクソフォンとピアノのための / 蒔田 裕也

サクソ：山下 航平 伴奏：小柳 舞華

「バラード」とは、美しいメロディーラインを用いた感傷的な楽曲を指します。華やかさや物悲しさなど、様々な音色を自由に生み出せるサクソの魅力を存分に引き出せる一曲です。前半は“歌”をテーマにしたバラード調の旋律によって物語が紡がれます。後半はその旋律を展開し、スウィング調で軽やかに爽やかに終盤へと向かっていきます。

演奏者よりメッセージ サクソの持つ多彩な魅力を存分に味わっていただけたらと思います。ピアノとのアンサンブルも楽しい一曲です。皆さまの心に響く演奏にしたいと思います。



山下 航平 Yamashita Kohei (広島パルコ店)
広島文化学園大学学芸学部音楽学科サクソフォン専攻卒業。同大学卒業演奏会出演。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。著名アーティストとの共演やサポートなどでも活動中。

水の戯れ / M.ラヴェル

ピアノ：宮平 真佑

「水の戯れ」は、ラヴェルがパリ音楽院在学中の1901年に作曲され、当時の師であったフォーレに献呈されました。楽譜の冒頭には〈裸身くすぐる水玉にはしゃぎたまう河の神…〉という詩が引用されています。多様に移り変わる水の様子が、職人的で緻密な作曲技法によって、繊細且つ色彩豊かに表現されています。

演奏者よりメッセージ このような貴重な機会に演奏できることを大変嬉しく思います。ピアノの多彩な音色が織りなす、さまざまな水の情景をイメージしながらお楽しみいただけますと幸いです。日頃の感謝の気持ちを込めて演奏いたします。



宮平 真佑 Miyahira Mayu (イオンモール沖縄ライカム店)
琉球大学教育学部音楽教育専修卒業。ピアノを大宜見朝彦、上原由記音、西村幸高の各氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

ピアノソナタ 第1番 Op.1 / S.プロコフィエフ

ピアノ：目 明代

プロコフィエフが若い頃に書いた初期の作品で、後に多くのピアノソナタを生み出す彼の出発点ともいえる一曲です。単一楽章で構成され、激しく推進する力強い音楽と、影のある叙情的な部分とが交錯しながらドラマティックに展開していきます。若々しいエネルギーと大胆な響きの中には、すでに彼らしい鋭い感性が感じられます。

演奏者よりメッセージ このような舞台上で演奏できることを大変光栄に思います。プロコフィエフならではの響き、ダイナミクスをお届けできるよう、心を込めて演奏いたします。



目 明代 Sakka Akiyo (イオンモール宮崎店)
山口県出身。宮崎大学教育文化学部生活文化課程芸術文化コース ピアノ専攻卒業。これまでにピアノを野田芳枝、葛西寛俊、ジャズピアノを木村寛嗣の各氏に師事。ヤマハ音楽能力検定指導グレード4級、高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。クラシック、ジャズを中心に幅広くレッスンをを行っている。

水のクロニクル / 石川 亮太

サクソ：川島 宙 伴奏：楠本 真理子

石川亮太氏に私の半生を託した委嘱作品です。私の名前「川・島・宙」を迎える3部作となっています。仲間と無邪気に遊ぶ少年の「川」、人生の迷いや祈りの中を漂う「島」、過去の歩みを肯定し空へ向かう「宙」。サクソとピアノで描かれる、一人の人間の等身大の景色が感じられる作品です。

演奏者よりメッセージ 「生きた証」を音楽で残すため、本作品を依頼しました。ただ、私の演奏家としての歩みはまだ道半ばです。この曲を一つの通過点とし、飾ることなく、より良い音を求めてこれからも泥臭く成長を続けていきます。



川島 宙 Kawashima Satoshi (岩田屋福岡店)
尚美学園短期大学 管弦打楽器学科、および東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマコース卒業。在学中に学内コンクールにて優勝。また、千葉県の大型テーマパークにて演奏業務を務めるなど、多岐にわたる活動を展開。これまでに深町宏、小串俊寿、田中靖人、林田和之の各氏に師事。

舟歌 Op.60 / F.F.ショパン

ピアノ：秋本 響子

寄せては返す波のリズムに乗って、美しいメロディが歌われます。穏やかな水面を進む舟が、淡い光を映す波に揺らめき、ふと静かな影を落とすように、様々な表情を移ろい変化します。そして、曲の中に現れる息をつくような繊細な響きは、どこまでも美しく、私たちの心に寄り添ってくれます。ショパンが晩年に辿り着いた傑作です。

演奏者よりメッセージ ずっと憧れていた作品を、皆さまにお届けできることが本当に幸せです。一音一音に想いを込めて、心に寄り添う響きを紡ぎます。



秋本 響子 Akimoto Kyoko (ららぽーと柏の葉店)

聖徳大学附属女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。第49回茨城県新人演奏会に出演。これまでに和田美紀、和田仁、玉置善己の各氏に師事。現在は光賀晴紀氏のもとで学ぶ。またソロや伴奏を中心に演奏活動を行う。

幻想曲「泡」クラリネットとピアノのための / 葛西 竜之介

クラリネット：寺田 真弓 伴奏：和田 佳小里

2023年に、クラリネット奏者、亀居優斗氏の委嘱により作曲された曲です。楽曲は、序奏、躍動、悲しき歌、畝(うね)り、の4つの部分から成り立ちます。生まれては消えていく、水の中を自由に旅する「泡」、クラリネットの繊細な音色とピアノの響きが重なり、一瞬ごとに表情を変えながら、淡く幻想的な世界が描き出されています。

演奏者よりメッセージ 葛西竜之介氏の作品は、どこか懐かしくやさしい空気が流れます。一音一音が、皆さまの記憶や感情と重なり、心の奥にそっと波紋を広げてくださいますように。心を込めて演奏いたします。



寺田 真弓 Terada Mayumi (マークイズ福岡ももち店)

鹿児島県出身。鹿児島県立松陽高等学校音楽科卒業。福岡教育大学音楽科卒業。宮日音楽コンクール入選。西日本出身新人紹介演奏会、鹿児島県新人演奏会に出演。ヤン・ギュンス、バスクラリネットマスタークラスを受講。クラリネットを中島暢宏、長瀬義人、坂口雅教の各氏に師事。小学校教諭一種免許状、中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

死の舞踏 Op.40 / C.サン＝サーンス

ピアノ連弾：小柳 舞華 藤岡 真子

サン＝サーンスが1874年に作曲した交響詩「死の舞踏」は、アンリ・カザリスの不気味な詩に基づいています。真夜中の12時、死神がヴァイオリンを掻き鳴らすと、墓場から骸骨たちが蘇り、夜明けの雄鶏の鳴き声が聞こえるまで、不気味に、そして熱狂的に踊り明かすという物語を描いています。

演奏者よりメッセージ このような素敵なホールで演奏する機会をいただけたこと、とても嬉しく思います。連弾ならではの迫力をお楽しみいただけるよう、心を込めて演奏します。



小柳 舞華 Koyanagi Maika (広島パルコ店)

広島県呉市出身。広島文化学園大学学芸学部音楽学科に音楽特別奨学生として入学。卒業演奏会に出演し、卒業時には学長賞を受賞。第15回ペーテン音楽コンクール大学・院生A部門全国大会第2位。第14回ヴィルトーゾピアノコンクール2022広島プレミアムF級プロフェッショナル部門第4位、併せてルミエール銀賞受賞。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。これまで織田直美氏に師事。



藤岡 真子 Fujioka Mako (広島パルコ店)

広島県呉市出身。4歳からピアノを始める。広島音楽高校卒業、エリザベト音楽大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻の特別奨学生として卒業。第66回広島音楽高等学校定期演奏会のピアノソリストとして広島交響楽団と共演。第13回ペーテン音楽コンクール自由曲コース大学生A部門全国大会第3位。これまでにピアノを織田直美、小嶋素子、三島良子、小黒寛二、マーティン・ヒューズ、クラウディウス・ダンスキーの各氏に師事。

前奏曲 Op.32 第1番、第5番 / S.ラフマニノフ

ピアノ：藤井 鴻気

ラフマニノフは、前奏曲を24個のすべての調性で作曲する構想を練っており、このOp.32をもって24曲が完成となりました。ラフマニノフの繊細な感性が光る傑作として知られています。第1番は短い三部形式で、3連符の息づく快活な曲です。第5番は、穏やかな左手の分散和音と、透き通るような旋律が特徴です。

演奏者よりメッセージ 第1番は、多彩な動きを見せる3連符をお楽しみください。終結部におけるジャズ風の和音構成も、本曲を彩る重要な聴きどころとなっております。第5番は静けさの中で、鳥のさえずりを彷彿とさせる装飾音が、透明感のあるこの曲の魅力をより引き立てます。

楽興の時 Op.16 第4番 / S.ラフマニノフ

ピアノ：藤井 鴻気

「楽興の時」は、ラフマニノフが23歳の時に作曲した6曲からなる曲集です。この前までは「交響曲 第1番」の作曲に力を入れており、「楽興の時」がピアノ独奏曲への復帰作となりました。中でも最も有名な第4番は、激しく渦巻く左手の伴奏と、息の長い旋律で構成されています。

演奏者よりメッセージ 激しく動く左手の伴奏の中にも、ふとした瞬間に宿る温かみや輝きを大切に演奏します。物語が移り変わり、最後に迎える圧巻のクライマックスをぜひお楽しみください。



藤井 鴻気 Fujii Koki (グランフロント大阪店)

愛知県出身。5歳よりピアノを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。角田鋼亮指揮、セントラル愛知交響楽団と協演。江口玲氏に師事。ピアノソロのほか、アンサンブル・ピアニストとして、小学校でのボランティア、オンラインライブ配信の演奏会などを経験。

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 Op.100 第1楽章 / J.ブラームス

ヴァイオリン：佐藤 華子 伴奏：楠本 真理子

この作品は、彼の3つのヴァイオリン・ソナタの中で2番目に書かれました。1886年に作曲され、ブラームス自身が非常に気に入っていた曲の一つであると言われています。第1楽章は優美な旋律が特徴的な楽章です。また、ヴァイオリンとピアノが互いに対話するかのようテーマを交換しながら進行します。

演奏者よりメッセージ 私の祖父が好きな曲なので、この機会に演奏したいと思い今回選曲しました。この曲はヴァイオリンとピアノの掛け合いも大きな特徴となっております。先輩である楠本さんと息を合わせて演奏したいと思います。



佐藤 華子 Sato Hanako (岩田屋福岡店)

3歳からヴァイオリンを始める。東京音楽大学 音楽学部音楽学科 器楽専攻 弦楽器(ヴァイオリン)卒業。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。全日本ジュニアクラシックコンクール全国大会入賞。

ピアノ伴奏



楠本 真理子 Kusumoto Mariko (岩田屋福岡店)

熊本県天草出身。4歳よりピアノを始める。福岡女子短期大学音楽科卒業。第32回卒業演奏会出演。同短期大学音楽専攻科修了。中学校教諭第2種免許状(音楽)取得。ピアノを中村順子氏、坂本玲子氏に師事。2004年インストラクターとしてレッスン稼働開始。指導歴21年。

第2部

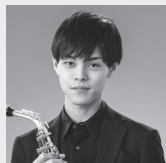
演奏曲目解説
演奏者メッセージ
プロフィール

ファジィバード・ソナタより 第1楽章「Run,bird」 / 吉松 隆

サクソ：堂森 拓哉 伴奏：本居 遼也

吉松隆は日本の作曲、編曲家です。クラシックの作曲のみならず、Emerson, Lake & Palmerの「Tarkus」をオーケストレーションするなど、様々なジャンルを手掛けています。この曲は鳥の飛翔や歌声を描写し、ミニマル、ジャズ、クラシックが融合した個性的な楽曲となっています。

演奏者よりメッセージ この曲は全3楽章で構成されており、今回は第1楽章を演奏いたします。曲中には「特殊技法」を用いた表現も数多く登場します。どのような情景を描いた「音」なのかを皆様感じていただけるよう、心を込めて演奏いたします。



堂森 拓哉 Domori Takuya (かわぐちキャスト店)

福井県出身。昭和音楽大学音楽学部器楽学科卒業。これまでにサクソを田端直美、陣内亜紀子、福本信太郎、野原武伸の各氏に師事。第71回福井県音楽コンクール管楽器部門大学・一般の部にて知事賞、団体ではTHE 50th YAMANO BIG BAND JAZZ CONTESTにてJ-WAVE賞など、その他にも数多くの受賞歴を持つ。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

巡礼の年 第2年「イタリア」より 第1番「婚礼」 / F.リスト

ピアノ：原田 美沙

「巡礼の年 第2年 イタリア」はリストが2年間滞在したイタリアでの印象を元にした曲で、いずれもイタリアの絵画や文学からインスピレーションを得ています。その中のひとつ「婚礼」は、ラファエロの名画「マリアの婚礼」からヒントを受けて作曲されました。厳粛ながらも喜びに満ちた、気品ある響きが特徴的です。

演奏者よりメッセージ 5年ぶりに福岡で開催のサンクスコンサート、再びこの舞台に立てることを嬉しく思います。皆さんと一緒にイタリアを旅しているような気持ちで、日頃お世話になっている皆様に感謝の気持ちを込め大切に演奏します。



原田 美沙 Harada Misa (アミュプラザ博多店)

福岡県出身。2歳からピアノを始める。福岡女子短期大学音楽科演奏コース卒業。同短期大学音楽専攻科修了。第42回、第43回卒業演奏会出演。これまでにピアノを柴戸亜樹氏に師事。2014年よりピアノインストラクターとして勤務しながら演奏活動も行う。

ツイゴイネルワイゼン Op.20 / P.サラサーテ

ヴァイオリン：山岸 沙紀 伴奏：木村 美沙子

サラサーテが1878年に作曲したこの曲は、哀愁と奔放な激しさをヴァイオリンの名技性に結びつけた作品です。強烈な序奏で始まった後、哀愁を帯びた旋律が表情豊かに奏でられる第1部、弱音器をつけて感傷的に歌われる第2部、激しい情熱に満ちた第3部へと続きます。超絶技巧だけではなく、様々な人間的感情が詰まった曲となっております。

演奏者よりメッセージ 様々な技巧が詰まった名曲です。情熱や哀愁、華やかな躍動感を大切に、作曲者が込めた思いをヴァイオリンの音色に乗せ、言葉のように奏でながら皆様へお届けできるよう心を込めて演奏いたします。



山岸 沙紀 Yamagishi Saki (横浜みなとみらい店)

3歳よりヴァイオリンを始める。スズキ・メソッド全教育課程を経て、日本大学芸術学部音楽学科弦管打楽コースを卒業。大学在学中、井上淑子氏に師事。また、在学中からプライダル演奏など演奏活動を行う。現在は、ボランティア演奏やコンサートなど幅広い活動を行う。

舟歌 Op.60 / F.F.ショパン

ピアノ：野村 侑未

水の揺らぎや舟の動きを思わせるリズムに乗せて、歌うような旋律が広がる作品です。恋人ジョルジュ・サンドとの別れや持病である肺結核の悪化など、苦しみや孤独に苛まれた中で作曲されました。穏やかな美しさの中に深い哀しみ、失われていくものへの憧れが込められた、ショパン晩年の大作です。

演奏者よりメッセージ 素敵な舞台で憧れの曲を演奏する機会をいただき、大変嬉しく光栄に思います。ショパンの繊細な感情や美しい響きを表現できるよう、心を込めて演奏いたします。



野村 侑未 Nomura Yumi (アミュプラザ鹿児島店)

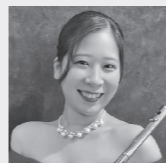
鹿児島県出身。桐朋学園大学音楽学部卒業。これまでにピアノを池川礼子、下園たか子、桃坂寛子、三上桂子の各氏に師事。霧島国際音楽祭にて若林顕氏のマスタークラスを修了。高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。鹿児島県文化振興財団登録アーティスト。

「椿姫」によるファンタジー / G.ヴェルディ

フルート：山本 愛美 伴奏：板井 かほり

「椿姫」は、パリの高級娼婦ヴィオレッタと青年アルフレードの恋と悲劇を描いた、G.ヴェルディ作曲のオペラです。第1幕で歌われる「乾杯の歌」を主題に始まり、第3幕で死期を悟ったヴィオレッタが嘆く様子や、アルフレードを待ちながら過去を回想する様子などをフルートの変奏で展開し、再び「乾杯の歌」で華やかに締めくくられます。

演奏者よりメッセージ 一度は聞いたことのあるあの旋律を、今回はフルートの音色でお届けします。曲中の心情の移り変わりも、主人公になり切って演奏いたします。華やかなパーティーでの乾杯シーンをイメージしながらお聴きください。



山本 愛美 Yamamoto Manami (岩田屋福岡店)

福岡県出身。大分県立芸術文化短期大学卒業。12歳よりフルートをはじめ、第27回日本クラシック音楽コンクール福岡本選にて最優秀賞および全国大会出場。第19回大阪国際音楽コンクールにてファイナリストに選出。これまでにフルートを萩原貴子、高木綾子、松本優哉、フランスリストワイマール音楽大学教授ウルフ＝ディーター・シャーフ各氏に師事。

ノクターン第13番 Op.48-1 / F.F.ショパン

ピアノ：本居 遼也

ショパンの円熟期の作品で、壮大なオペラの作風は、ノクターンの中でも最高傑作と評されています。厳かな和音と儂い旋律に始まり、温かなコラール部を経て、激しく興奮した再現部は祈りと共に幕を閉じます。

演奏者よりメッセージ かれこれ10年ほど弾き続けているこの曲ですが、年々成熟され、変化を遂げています。当時31歳だったショパンの想いと照らし合わせた、現在26歳の自分ならではの表現、演奏をお楽しみいただければ幸いです。



本居 遼也 Motoi Ryoya (ミュージックサロン船堀)


東京生まれ。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。在学中、2017年度Students' Concert、高校卒業演奏会、2021年度大学Student Concert、大学ピアノ専攻卒業演奏会、カワイ音楽振興会主催ランチタイムコンサートに出演。これまでにピアノを、笠原純子、安田正昭、三上桂子の各氏に師事。各地でソロ、器楽伴奏などの演奏活動を行う。

フルート協奏曲 Op.30b 第1楽章 / 尾高 尚忠

フルート：奥村 愛 伴奏：原田 美沙

この「フルート協奏曲」は作曲家 尾高尚忠の晩年の作品です。本日演奏する第1楽章の「Allegro con spirito」は、日本の音階が用いられており、東洋的な面とロマン派的な旋律が合わさった軽快で華やかな楽曲となっています。

演奏者よりメッセージ 日本人作曲家の作品を演奏したいと思い、この曲を選びました。皆様への日頃の感謝の気持ちが心にそっと届くよう、一言一音を大切に演奏いたします。


	奥村 愛 Okumura Megumi (アミュプラザ博多店) 福岡県出身。6歳からピアノ、11歳からフルートを始める。福岡女子短期大学音楽科演奏コース卒業。同短期大学卒業演奏会出演。フルートを石田光江・田中瑞穂の各氏に師事。第10回ヴェルデ音楽コンクール最優秀賞受賞。
---	---

スケルツォ 第2番 Op.31 / F.F.ショパン

ピアノ：矢野 仁美

ショパンが27歳から29歳という創作活動の絶頂期に生み出した本作は、パリでの生活や祖国ポーランドへの郷愁、そして内面的な葛藤が色濃く投影された作品です。美しい旋律と深い情感が交錯するドラマティックな世界をお楽しみください。

演奏者よりメッセージ ショパンの人生や時代背景に想いを馳せながらお聴きいただくと、「スケルツォ第2番」に秘められた物語が、より鮮やかに心に浮かんでくることでしょう。煌びやかに甘美な旋律を、心を込めて演奏いたします。

	矢野 仁美 Yano Hitomi (あべのand店) 2歳より音楽教室に通い、ピアノ・作曲などの音楽力を磨く。同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻鍵盤楽器コース修了。推薦卒業演奏会出演、顕啓会音楽賞受賞。在学中より渡欧しStefan Arnold教授に師事、国内外演奏会にて研鑽を積む。ウィーン国立音楽大学マスタークラスディプロマ取得、選抜修了演奏会出演。ヤマハヤングピアニストコンサートFinal3年連続金賞、日本クラシック音楽コンクール全国最高位。
--	--


「ロメオとジュリエット」ピアノのための10の小品 Op.75より

1.民衆の踊り、6.モンタギュー家とキャピュレット家 / S.プロコフィエフ

ピアノ：板井 かほり

シェイクスピアの悲劇を題材としたバレエ「ロメオとジュリエット」は、プロコフィエフの代表作の一つです。「10の小品 Op.75」は、1937年に作曲家自身の手でピアノ独奏用に編曲・初演されました。「1.民衆の踊り」は賑やかなカーニバルの情景を描いており、8分の6拍子の躍動的なリズムで活気に満ちた舞曲の主題が歌われます。「6.モンタギュー家とキャピュレット家」では、舞踏会の様子が描かれます。重厚かつ威圧感に満ちた旋律は、騎士や貴婦人たちの厳かな舞踏を象徴しています。中間部では一転して繊細で感傷的なメロディが響き、ジュリエットが婚約者候補のパリスと踊る場面を叙情的に描き出します。

演奏者よりメッセージ 近現代作品ならではの不協和音にドキッとし、連続する転調にワクワクし、美しい和声にうっとりする。感情が激しく揺さぶられる一曲です。この「音で奏でる物語」を、ぜひ私と一緒にご体感いただけましたら幸いです。


	板井 かほり Itai Kahori (イオンモール熊本店) 武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科有鍵楽器ピアノ専修卒業。これまでに村上加良子、渡辺ゆみこ、岡野壽子の各氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。
---	--

プロヴァンスの風景 第1楽章、第2楽章、第5楽章 / P.モーリス

サクソ：舟木 春菜 伴奏：野村 侑未

パリに生まれた女流作曲家ポール・モーリスによって1956年に作曲され、マルセル・ミュールに献呈されました。本日は、第1楽章：FARANDOULO DI CHATOUNO(若い娘たちのファランドール)、第2楽章：CANSOUN PER MA MIO(いとしい人への歌)、第5楽章：LOU CABRIDAN(カブリダン)を演奏いたします。

演奏者よりメッセージ プロヴァンス地方ののどかな風景や人々を描いたかわいらしい魅力的な作品です。第5楽章カブリダンがプロヴァンス地方に生息する「あぶ」のことですが、それが一体どのような曲なのか、ぜひ想像しながらお聴きください。

	舟木 春菜 Funaki Haruna (アミュプラザ鹿児島店) 佐賀県出身。平成音楽大学卒業、サクソ・室内楽を斎藤広樹氏に師事。第50回佐賀県新人演奏会出演 佐賀銀行文化財団賞受賞。九州サクソフォニストグループ会員。鹿児島サクソフォン教育研究会会員。鹿児島県文化振興財団登録アーティスト。
---	---

前奏曲 第1集より「ミンストレル」/ C.ドビュッシー

ピアノ：木村 美沙子

「ミンストレル」とは、黒人に扮して歌や踊りなどのショーを演じた白人一座のことです。ドビュッシー(1862-1918)はイギリスへ赴いた際にミンストレルショーを見たといわれています。パンジョーをかき鳴らすような音型や、ユーモラスな足取りを思わせるリズムが登場します。


演奏者よりメッセージ ドビュッシーらしい遊び心に溢れた一曲です。ぜひリラックスしてお楽しみください。

日向で水浴びする女たち / D.de.セヴラック

ピアノ：木村 美沙子

副題は「パニユルス=シュル=メルの思い出」。セヴラック(1872-1921)は故郷の南フランスを活動の中心としました。ドビュッシーはセヴラックについて「良い香りのする音楽」と述べたそうです。曲は徐々に拍子を変えながら即興的に展開され、地中海のまぶしい太陽や光を反射して輝く水しぶきなどの情景が鮮やかに表現されています。

演奏者よりメッセージ 大学生の時にセヴラックという作曲家を知り、今回初めて演奏します。同年代にフランスで活躍した2人の作曲家の曲をお届けできることを、とても嬉しく思います。


	木村 美沙子 Kimura Misako (ミュージックサロン池袋) 桐朋学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。これまでに山川由希子、若尾佳代、今井彩子の各氏に師事。第1回ジュラ・キシュ国際ピアノコンクール審査員特別賞受賞。第6回エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール奨励賞受賞。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。
---	--

ホワイト・フィールド 鳥はひとつの終わりを歌う / 成田 勤

サクソ：尾中 勇太 伴奏：本居 遼也

万物に訪れる様々な移ろいを、見渡す限りが白一色に染まった世界での「四季の始まりと終わり」に擬えた楽曲です。上空を舞う一羽の鳥の視点から、静寂の中に息づく季節の循環と、その無常なまでの美しさが、ドラマチックに書き出されています。

演奏者よりメッセージ 本日はこのような舞台上で演奏できることを大変嬉しく思います。皆様にサクソフォンと楽曲の魅力をお伝えできるよう、心を込めて演奏いたします。どうぞお楽しみください。

	尾中 勇太 Onaka Yuta (ラゾーナ川崎店) 洗足学園音楽大学卒業。クラシックを大和田雅洋、平賀真奈美の各氏に師事。ジャズ、音楽理論を小池修、藤陵雅裕の各氏に師事。レッスンの傍ら、自己のカルテットやアーティストのサポートなど、Jazz、Pops、Rockと幅広く演奏活動を行う。
---	---